

[5/11～17課題]アンケート結果と質問回答～ 3 年英語～

課題	①	教科書の予習Unit0～Unit1と課題プリント
	②	1・2年の単語復習
	③	3年の単語予習（過去分詞）
	④	3年文法演習（受け身）

A	①～④すべて完了	13
B	①と他②③④のうち1つ以上	22
C	①～④のどれか1つのみ	21
アンケート回答合計人数		56

質問内容	1	英語の正しい発音がわからない。いつもの授業のように細かいポイントなども知りたい。	回 答	○発音について NEW HORIZONの教科書、東京書籍の会社のホームページで、新型コロナウイルスの対応として、音声聞けるようになっています。活用してみてください。 http://www.tokyo-shoseki.co.jp/subject/english/nhlisteningcd/ ○授業のような細かいポイントについて 今回は提示しませんが、覚えなければならないポイントは、2年生英語で勉強してきた流れと同じです。以下の①～④を確認しておきましょう。 ①新出単語や熟語 ②新出文法（教科書のUnitの右側一番上の基本文） ③前置詞（in, of, at, fromなど）、疑問詞（what, who, where, when, which, How）、接続詞（that, if, whenなど）をチェックする。 ④指示語 it, that が何を指すのか探す。
	2	英語ノートの左ページに、予習した文法の重要事項を書き込みしたいのか心配です。英検について、学校が準会場として受験申込が出来るかどうか教えて頂けると助かります。		○書き込みについて・・・はい、大丈夫です。どんどん書き込みしてください！（Unit0～Unit2は授業の書き込みはしません） ○英検について・・・榛松中では今年度の英検は実施しません。日程は英検のホームページで確認をし、最寄りの書店などで個人で申し込みをお願いします。
	3	単語がなかなか覚えられない		単語の覚え方はいろいろあります。書いて覚える人、読んで覚える人、見て覚える人。様々です。自分のやりやすい方法があればそれでよいと思います。私のおすすめは「単語カード」です。カードの表は英語、裏は意味を書きます。それをリビングや枕元、自分が何気なく座る場所に置き、”すき間時間”を使って短時間で見るようにしよう。実際にノートに書くのは最後にし、まず「言える」ようにします。「言える」ようになったら、指でつづりを書いてみます。そして最後にノートに書いてみると時間を有効に使うことができます。
	4	受け身の文の理解ができない		1つの出来事でも見方を変えていろいろな言い方をすることができます。 ①「石田先生がこの絵を描いた。」という文は“石田先生”を主題にしていますね。 ②「この絵は石田先生によって描かれた。」という文は“この絵”が主題になっています。 このように、見方を変えることにより。文章の表現方法が違ってきます。この1つが②の受け身です。 ①と②を英語にしてみましょう。 ①Ms. Ishida <u>painted</u> this picture. ②This picture <u>was painted</u> by Ms. Ishida. ②が今回新しく勉強する「受け身」の文になります。受け身の文の作り方は、課題プリントのUnit1-1に載せてあります。 （1）①の文の動詞(<u>painted</u>)の前後が入れ替わること （2）動詞(<u>painted</u>)がbe動詞＋過去分詞に変化する(was paintedになる)こと この2つが大きな特徴ですね。
	5	受動態の受け身の考え方で混乱してしまいます		
	6	予習のノートのやり方ですが、2年生と変わらずで良いのですか？		2年生の時と同じように、左側（単語の下）はメモ、右側に本文で書きましょう。（※スヌーピーノートの見本のページのように、単語の下に本文を書いた人はそれでもOK）
	7	文を書く順番がわからない		受け身の文のことでしょうか？ 質問4、5の回答を読んでみましょう。そのあとに、課題プリントUnit1-1をもう一度やってみましょう。